

かつしか 区議会だより

令和7年第4回定例会

12月	3日	本会議（一般質問等）
	4日	本会議（一般質問、議案の付託・議決等） 常任委員会（総務・文教） 議会運営委員会
	5・8～10日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	11・12・15日	特別委員会（新庁舎整備・現庁舎跡地活用、危機管理対策、地域交通政策推進）
	16日	議会運営委員会
	17日	本会議（議案の付託・議決等） 常任委員会（保健福祉、総務） 議会運営委員会

主な内容 2・3面…一般質問 4面…可決された議案ほか

No.269 令和8年（2026年） 1月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



新春梯子乗り

住宅宿泊事業（民泊）の適正な運営の確保に関する条例を全会一致で可決

今回の定例会では、11名の議員から区政一般質問が行われました。
また、令和7年度一般会計補正予算（第3号、第4号）をはじめとする区長提出議案

等31件と、固定資産税及び都市計画税に係る軽減措置の継続を求める意見書（下欄参照）など、議員提出議案5件が可決されました。

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書3件を可決し、関係機関に送付しました。

固定資産税及び都市計画税に係る軽減措置の継続を求める意見書

本区議会は、東京都に対し、次の事項について取り組むことを強く求める。

①小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和8年度以降も継続すること。

②小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和8年度以降も継続すること。

③商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和8年度以降も継続すること。

巨大地震発生に対する対応体制整備を求める意見書

本区議会は、政府に対し、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く求める。

①東海・南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること。

②各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること。

③新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・迅速化を実現するための機能を強化すること。

④国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講じること。

重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める意見書

本区議会は、政府に対し、地方の現場に寄り添った柔軟かつ持続的な支援策を講じられるよう強く求める。

①重点支援地方交付金の拡充を図り、地方が自主的に課題解決に取り組める環境を整えること。

②補正予算を早期に成立させ、重点支援地方交付金を含む地方財源を迅速かつ確実に配分すること。

③地方自治体に対して、交付金制度の趣旨・要件等について丁寧な説明を行うとともに、実施段階での技術的・財政的支援を適切に講じること。

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状など時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員など政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れなどをしたり、お祝い金（出産・新築など）、贈り物（お中元・お歳暮など）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

着実な区政課題の解決と
持続可能な区政運営を

戸籍住民課窓口

問コンビニ交付の利用拡大に向けた周知方法の進捗状況を伺う。また手数料について、繁忙期など期間を限定して見直しを行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答コンビニ交付の利用拡大に向けた取り組みとして、周知用ポスターなどを作成し掲示を行うほか、広報かつしかや区ホームページで積極的に周知を行う予定である。手数料の見直しについては、区民サービス向上の観点から、期間限定的な見直しができるよう取り組みを進めていく。

※他の質問項目 待ち時間短縮 など

観光・文化のまちづくり

問水元公園内へのスケートボード広場の整備について、現在の検討状況と令和10年度の開設に至るまでの具体的な整備スケジュールについて伺う。



小菅西公園スケートボード場(完成予想図)

答令和8年2月に基本計画の策定を、令和8年度から9年度にかけて基本設計・実施設計を行う。令和9年度から10年度にかけて整備工事を行い、並行して開設準備を行うことで令和10年度中の供用開始を目指す。

※他の質問項目 水元レンタルボート事業 など

金町街づくりと都市計画道路補助第

138号線整備

問金町駅南北自由通路の整備調査の状況と、今後の南北自由通路の整備スケジュールについて伺う。

答令和6年度からJR東日本が主体となり、流動調査などを行っている。その結果を踏まえ、地上案・橋上案について令和7年度から令和8年度までの期間で設計計画や概算工事費の算出などに係る調査を行っている。令和9年度以降の事業化を目指す。JR東日本との協議を進めていく。

※他の質問項目 理科大学通り など

他の質問件名 今後の区長の区政運営、小松南小学校改築

区民ニーズ、地域特性を的確に把握し
区政への確実な反映を

地域公共交通計画の推進

問グリーンスローモビリティについて、地域公共交通計画でどのような役割を果たすと位置付けているのか伺う。

答本計画では、地域密着型の交通手段として位置付けている。交通事業者の担い手不足が見込まれる中にあるため、地域特性に応じた小さな移動ニーズに持続的に対応できる交通モードの役割を果たすものとしている。

※他の質問項目 高齢者の外出機会の確保 など

障害者支援体制

問今年度から実施する予定の、重度障害者を受け入れるグループホームの運営費や設備改修費の一部助成制度の状況について伺う。

答本区では今年度から重度障害者を受け入れる施設を対象に一部助成を行う取り組みを開始するため、制度の詳細を詰めているところである。引き続き東京都とも連携・協力して障害者の福祉の向上や家族の支援の充実に努めていく。

※他の質問項目 障害者に対するレスパイト事業 など

旧森永乳業工場跡地の物流施設

問地域貢献棟に関する地元の自治会

からの要望案に対し、できる限り実現できるよう、本区としても働きかけを行いたい。区の見解を伺う。

答事業者からできる限り地域要望を実現できるよう、さらなる検討を行っていくとの方向性が示されている。今後も積極的に協議を行うとともに、当該施設が操業後も地域の一員として交流を深めていくことができるよう本区としても働きかけていく。

※他の質問項目 防災政策上の位置付け など

他の質問件名 スタジアム構想の実現に向けた東新小岩運動場敷地活用

葛飾区議会公明党

物価高騰対策・教育・医療面で
区民に寄り添った区政運営を

認知症施策

問認知症に対するネガティブなイメージの払拭に向けて効果的なPRを展開していく必要があると考えるが、区はどのように進めていくのか伺う。

答現在行っている「認知症サポーター養成講座」をより多くの方に受講してもらい理解を深めていただくとともに、集客力の高い商業施設で認知症VR体験などのイベント開催を検討していく。

※他の質問項目 もの忘れ予防健診 など

シルバーパス

問都が引き下げた負担額について、区独自で支援してさらに引き下げ、高齢者が活躍できる環境整備を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答より多くの高齢者が活躍できる環境整備につながるよう、他区の先行事例も参考にしながら検討していく。

火葬場

問東京都に対し、都と区が連携して火葬の在り方を検討する「検討会」の設置を具体的に働きかけるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答これまで特別区長会を通じて、民間

火葬事業者に対し適正な経営や管理を行うことを要請するとともに、国に対しては民間火葬場の火葬料金の設定に当たり、あらかじめ行政が関与する仕組みを法令に規定することなどを要望している。今後も都と連携して国に必要な措置を講ずるよう求めるとともに、検討会の設置についても働きかけていく。

※他の質問項目 料金改定 など

他の質問件名 今後4年間の区政運営と物価高騰対策、教育

区民のための検診体制と
地域に根差したまちづくりを

問本区における今後の検診体制の強化
問区民の行動変容を確実に促すため、個人ごとに健診通知を統合し、年に一度、一括で送付する仕組みを導入していく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答健診通知を統合化することにより、まとめて健診に関する情報をお届けでき、受診勧奨の効果が得られるものと考えている。そのため、医師会をはじめ実施医療機関の協力のもと、健診時期や健診に用いる帳票類の調整を行っている。今後、関係機関と連携し、健診通知の統合化の実施に向けた検討を進め、健診体制の強化を図っていく。

※他の質問項目 眼科健診 など

デフリンピック東京大会

問デフリンピック東京大会を一過性のイベントに終わらせず、さらなる区民の安全・安心、共生社会の創出に向け積極的な取り組みを行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答本区では他の自治体に先駆けてコミユニケーション条例を制定し、普及啓発講座の実施やオンラインで区の窓口と手話相談が受けられる環境整備に取り組んでいる。今後は区からの情報提供の在り方の工夫をはじめ、手話通訳や文字表示の工夫により、障害のある方とのより良い共生社会の実現に取り組んでいく。



デフリンピック閉会式の様子

※他の質問項目 環境整備 など

他の質問件名 自転車の青切符制度、東新小岩運動場におけるスタジアム構想、地域のまちづくり

かつしか区民連合

学童保育の運営改善と
停電時の避難運営体制について

宿泊施設に関する現状と課題、今後の対応方針

問民泊については上乗せ条例制定後も必要に応じて、さらなる規制強化や追加措置を検討していく姿勢が求められる。区はどのように運用体制を整備し、改善を図っていくのか伺う。

答条例の施行後は、これまでの対応に加え積極的に実態を把握するとともに、既存施設に対する現場調査も実施し適切な条例の運用体制を構築していく。

※他の質問項目 観光推進 など

学童保育の運営改善と安全確保・負担軽減に向けた取組

問所得制限を満たすひとり親家庭医療費助成受給世帯を学童保育料減免の対象に含めることを検討すべきではないか。

答学童保育クラブ使用料については、各世帯の所得状況に応じた負担軽減に努めている。したがって、基準を超えた所得のあるひとり親家庭医療費助成受給世帯を新たに減免対象とすることは、応能負担の観点から課題があると考えている。



ひとり親家庭サポートガイド

※他の質問項目 学童保育クラブにおけるおやつ代の無償化 など

停電時の避難所運営体制と実践的訓練の強化

問総合防災訓練や各地域の避難所訓練において、停電を想定した対応をどの程度実施しているのか伺う。

答避難所には停電や通信途絶を想定して発電機や無線機などを配置し、避難所開設を想定した訓練などで使用方法を確認している。今後も訓練などで、ライフラインの途絶などの事態を想定した取り組みを推進する。

※他の質問項目 備えの強化

がん検診の受診率向上に向けた現状分析と受診勧奨策

問受診率向上に向けて、受診券の個別配布など、確実に届く形の受診勧奨策を検討すべきと考えるがどうか。

答本区が実施するさまざまな健診案内と併せて、対象となるがん検診の受診券を一括送付することを検討している。取り組みの効果を検証し、他自治体の例を参考にしながら、受診率向上に向け積極的に推進していく。

※他の質問項目 受診率の現状分析 など

日本共産党葛飾区議会議員団

低投票率は区民の失望の現れ。
生活支援の拡充を強く求める。

11月9日投票で行われた区長選挙の結果

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

問区長は再選を果たしたが、選挙のたびに得票数を減らし続け、また区長を被告とする5つの裁判も行われてきた。政治不信、区政への無関心の表れではないか。区長の認識を伺う。

答私の得票は投票数の6割を超えており、また、直近の区議会議員・区長選挙の投票率も今般の選挙と同様の水準で推移していることから、この結果が政治不信や区政への無関心の表れであるとは考えてない。

今後の区政運営

問政府は、物価高騰対策として自治体によるお米券の配布など一人当たり3千円相当を想定しているが、本区が上乗せをして、全世帯へお米券を直ちに配布すべきと思うかどうか。

答11月21日に政府が閣議決定したため、国や東京都の施策と連携した物価高騰対策について検討を進めていく。

問高齢者の社会参加、福祉の向上を図るため、シルバーパスを年額千円で使用できるようにすべきと思うかどうか。

答他区の先行事例も参考にしながら、検討していく。

問小中学校進学の際、入学祝い金10万円を支給すべきと思うかどうか。

答現時点で、新たに入学祝い金の支給を実施する考えはない。

※他の質問項目 生活保護 など

民間まかせの公共交通では区民の移動の権利は守れない

本区の公共交通施策

問葛飾区は区民の移動を人権の一つとして積極的に保障していく立場に立つべきと思うが、区長はどう考えるか。

答既にさまざまな観点から区民の日常生活や社会生活に必要となる移動手段の確保に努めている。

※他の質問項目 公共交通の無料化 など

葛飾区地域公共交通計画等

問かつライドの利用料500円は休止した

バス路線の代替としては極めて重い負担である。元のお米券に準じた金額に値下げすべきではないか。



かつライドのパンフレット

答バス料金に準じた金額に値下げすることは現時点では考えていない。

※他の質問項目 降車ポイント など

かつしか立憲

区民相談・学校支援の体制強化
地域を豊かにする街づくり

区民相談体制の充実

問福祉・保健・教育など複数分野にまたがる支援の連携の取り組みと、情報共有や支援調整の強化を伺う。

答複数の課題を抱えた世帯に対して、関係機関の担当者による支援会議を開催し情報共有を行うとともに、支援の方向性や役割を定め、きめ細かい対応を行っている。さらに庁内で相談支援を行う課の課長級の会議を設け、情報交換などを行うことで組織的連携の強化にも取り組んでいる。

※他の質問項目 複数の課題を抱えた方の把握 など

一人一人の学びを支える学校支援体制の強化

問自閉症・情緒障害学級、知的障害学級のデジタル教材の導入状況や、運用面での課題認識について伺う。

答自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する児童・生徒へのデジタル教科書の導入や、一部の小学校の知的障害特別支援学級に在籍する児童にも学習アプリの導入を行っている。課

題は、児童・生徒の実態に応じた教材や授業での活用方法について研究を続ける必要があると認識している。

※他の質問項目 人的配置 など

高砂地区のまちづくり

問高砂駅の連続立体交差事業および周辺の街づくりの進捗について伺う。



高砂駅の踏切

答駅周辺の街づくりは、連続立体交差事業に併せて、交通結節機能の強化や交通ネットワーク形成を図るため、都市基盤の検討を行っている。こうした中、高砂地区開発協議会では高砂地区まちづくり方針（仮称）を取りまとめた。区ではこの方針を基に高砂駅周辺地区まちづくりガイドプランの改訂を行う予定である。

※他の質問項目 高砂四丁目団地跡地利用の今後の取り組み

みらい葛飾生活者ネット・無所属

子どもの権利保障の取り組みと不登校支援情報の提供を

子どもの権利保障

問本区ではホームページ内に子どもページを開設し、匿名で子どもの声を聴くためのこえボス、専門家が対応する相談（意見表明）を受けるためのフォームを新たに設けたが、相談は0件であった。葛飾区社会的養育推進計画の中で、子どもが権利に関する相談をしやすい環境にするため、その仕組みの見直しを行うとあるが、どのように取り組むのか見解を伺う。

答意見表明フォームから意見が寄せられていない状況について、ホームページが分かりにくいなどの理由も考えられることから、今後は見直しを行っていく。また、意見表明支援員の訪問型支援の導入について検討を進め、より子どもたちが意見表明や相談がしやすい環境づくりに努めていく。

れている状況について、ホームページが分かりにくいなどの理由も考えられることから、今後は見直しを行っていく。また、意見表明支援員の訪問型支援の導入について検討を進め、より子どもたちが意見表明や相談がしやすい環境づくりに努めていく。

※他の質問項目 子どもの権利についての周知 など



区立小学校の運動会の様子

不登校支援

問本区の不登校支援において民間との連携状況はどうか。また、不登校支援関連団体などに意見や、子どもたちや保護者の状況を聞き、実際の現場を見て、連携しながら不登校対策を進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答不登校児童・生徒およびその保護者の思いや声を丁寧に聞き取ることは適切な支援を進める上で重要であると認識している。一方、フリースクールなどの不登校支援関連団体などについては、対象が葛飾区内の児童・生徒に限定されていないこと、また支援方法や利用料金が多様であることから、教育委員会として、これらの団体と連携を図ることは、現時点では考えていない。

※他の質問項目 不登校児童・生徒への給食費相当給付金等の検討 など



無所属（※1）

DX戦略で区民の利便性向上と行政の業務効率の両立を実現

区政運営や政策決定過程の透明性強化（区政の見える化）の現状

問区政情報は区民にとって必要なタイミングで受け取れることが重要である。従来の紙によるお知らせだけではなく、AIなどを活用したプッシュ型の情報提供も必要ではないか。

答区ではLINEを使用し、ユーザーが事前に欲しい情報を自ら選んで登録することで、その方が必要とする情報を配信するように配慮している。また、子どもの成長に合わせた配信も開始している。今後もAI活用の有効性などについて研究し、効果的なプッシュ型の情報提供を行っていく。

※他の質問項目 今後の方策 など

葛飾のDX戦略（スマートかつしか）

問DX化で、人件費やコストの削減、業務効率にどの程度寄与できているか、具体的な数値など分かりやすい指標とその効果について伺う。



DXの推進

答DXの分野は変化のスピードが速いため、今後デジタル推進計画は更新せず議会に報告をしながら取り組みを進めていくこととしたため、具体的な指標は現在定めていない。しかし、導入したことによる効果は数値化して示す必要があると考えており、現在、算出方法の検討を進めている。

※他の質問項目 利便性の向上 など

無所属（※6）

文化施設の区民利用の促進と体育施設の環境改善を

文化施設の区民サービス向上

問かつしかシンフォニーヒルズは利用料金や利用条件において区民ならではの特典が十分に設けられていないと考える。葛飾区民が利用しやすいような検討の余地はないのか。

答現在、一定の要件を満たす文化・芸術団体に対し、利用料金を50%減額する制度を設けている。今後も、多くの区民の皆さまにご利用いただけるよう、見直しなどを検討していく。

※他の質問項目 申請方法の簡略化 など

屋外体育施設の環境改善

問葛飾区河川敷の屋外体育施設において、日差しを避けるベンチや休憩所が不足している。現状の課題認識と、日よけのある休憩スペースの整備計画について伺う。



河川敷の運動場

答日よけのあるベンチや休憩所については設置数が十分であるとは言えない状況である。現時点で具体的な整備計画を策定する考えはないが、近隣自治体の取り組み事例などを参考に、今後の対応を検討していく。

※他の質問項目 利用者視点での施設改善の推進

他の質問件名 不登校児童を抱える保護者への支援、学童保育の充実、介護と仕事の両立支援、小学校のトイレの改修工事

次の定例会は2月開催予定です

可決された議案等

分は意見の分かれた案件
(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 31件】

予算 2件

▼令和7年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出にそれぞれ25億4千175万8千円を追加し、予算総額を2千711億2千953万5千円とする。

▼令和7年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ23億6千550万円を追加し、予算総額を2千734億9千503万5千円とする。

制定する条例 2件

▼乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例分

児童福祉法の改正に伴い、葛飾区における乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める。

▼住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例

住宅宿泊事業の適正な運営の確保に關し必要な事項を定める。

一部を改正する条例 10件

▼旅館業法施行条例

衛生に必要な措置および生活環境の悪化防止のため、営業者の遵守事項に宿泊者の滞在期間中に営業従事者を常駐させるなどの事項を加えるほか、所要の改正をする。

▼区立公園条例

柴又公園を拡張する。

▼区立学校設置に関する条例分

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、校名をしばまた小学校とする。

職員 1件

▼特別区人事委員会の勧告に伴い、職員の給料表を改定するほか、所要の改正をする。

▼幼稚園教育職員の給与に関する条例

▼会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

会計年度任用職員の期末手当および勤勉手当の支給月数を改める。

▼区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例分

区議会議員の議員報酬の月額および期末手当の支給月数を改める。

▼区長等の給与等に関する条例分

区長および副区長の給料の月額および期末手当の支給月数を改める。

▼教育委員会教育長の給与等に関する条例分

教育長の給料の月額を改める。

▼監査委員の給与等に関する条例分

常勤の監査委員の給料の月額を改める。

契約 13件

▼(仮称)特別養護老人ホーム等代替施設電気設備工事請負

▼(仮称)特別養護老人ホーム等代替施設給排水衛生設備工事請負

▼(仮称)特別養護老人ホーム等代替施設空調設備工事請負

▼(仮称)子ども未来プラザ白鳥電気設備工事請負

▼(仮称)子ども未来プラザ白鳥空調設備工事請負

▼宝木塚小学校電気設備工事請負

▼宝木塚小学校給排水衛生設備工事請負

▼宝木塚小学校空調設備工事請負

▼地域産業振興会館受変電設備及び非常用発電設備改修工事請負

▼奥戸総合スポーツセンター温水プール館等受変電設備及び低圧幹線等改修工事請負

▼二上小学校既存校舎ほか1解体工事請負

▼都市計画道路補助第276号線(一口橋南)整備(その3)及び排水施設(その2)工事請負

▼水元小合溜河川環境改善(汚泥処理設備改修等)工事請負

その他 4件

▼体育施設の指定管理者の指定分

▼副区長の選任同意

植竹貴氏を選任することに同意

意見の分かれた案件 (○賛成、×反対)

件名		会 派 名 () 内は会派所属議員数														議決結果
		自民 (10)	公明 (8)	区民 (4)	共産 (4)	立憲 (3)	みら (2)	無※1 (1)	無※2 (1)	無※3 (1)	無※4 (1)	無※5 (1)	無※6 (1)	無※7 (1)	無※8 (1)	
条 例	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	葛飾区立学校設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	葛飾区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	
	葛飾区長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例															
	葛飾区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例															
葛飾区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例																
その他	葛飾区体育施設の指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
請願	学校外水泳授業の見直しを求める請願	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択

自民＝自由民主党議員団、公明＝葛飾区議会公明党、区民＝かつしか区民連合、共産＝日本共産党葛飾区議会議員団、立憲＝かつしか立憲、みらい＝みらい葛飾(生活者ネット・無所属)、無＝無所属

子ども区議会が開催されました

昨年12月25日、子どもたちに区議会の仕組みや議会制度についての理解と、区政への関心を深めてもらうため、27名の小中学生からなる、子ども区議会が開催されました。

当日は、梅沢とよかず議長、青木克徳区長をはじめ、区議会議員、区幹部職員などが出席しました。

本会議では、10名が子ども区議会議員の代表として、ポイ捨て、地球温暖化、新金線、葛飾教育の日など、日頃から自分たちが感じていることについて一般質問を行い、区長、教育長から答弁が行われました。

また、本会議を休憩して委員会を開き、放置自転車、不審者対策、いじめなどについて、活発な質問を行い、各部長から答弁が行われました。

最後に、決議文作成委員が子ども区議会議員を代表して、「区民一人一人の思いを大切に、安全安心な葛飾区にするための決議」を提案しました。

決議文は、子ども区議会議員全員の意見を踏まえて検討・作成したもので、区民が取り組むきれいなまちづくり、安全で安心なまちづくり、子どもたちがより良い学校生活を送ることについて、全ての区民が考え、行動することを求めるものです。

決議案は全会一致で可決され、子ども区議会は終了しました。



区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします (令和7年12月17日現在)

会派名	構成議員名				会派名	構成議員名
自由民主党議員団	秋本とよえ	秋家聡明	安西まさのぶ	池田ひさよし	無所属(※1)	岩見なつよ
	伊藤よしのり	梅沢とよかず	大森ゆきこ	高木信明	無所属(※2)	大西じゅんこ
	竹本としあき	筒井たかひさ			無所属(※3)	菅野勇人
葛飾区議会公明党	岩田よしかず	おおやけい子	かくお誠一	小山たつや	無所属(※4)	鈴木信行
	清水こういち	下山しんいち	早川はるよ	細木まこと	無所属(※5)	つたえりな
かつしか区民連合	うてな英明	大高拓	鈴木たつし	中村けいこ	無所属(※6)	広田さくら
日本共産党葛飾区議会議員団	片岡ちとせ	木村ひでこ	中江秀夫	中村しんご	無所属(※7)	舟坂とも
	かわごえ誠一	鬼頭すみ	土田あきら		無所属(※8)	みずま雪絵
みらい葛飾(生活者ネット・無所属)	小林ひとし	沼田たか子			無所属(※9)	むらまつ勝康

広報委員会

会長 梅沢とよかず
副会長 細木まこと
委員 大森ゆきこ
委員 おおやけい子
委員 鈴木たつし
委員 片岡ちとせ
委員 鬼頭すみ
委員 区議会事務局長

次の「かつしか区議会だより」は4月発行予定です